



HPE GreenLake Cloud Services

The Cloud That Comes To You



HPE GreenLake Cloud Services

HPE GreenLake Cloud Servicesは、アプリケーションとデータをあらゆる場所でクラウドのように利用できる、As-a-Service型ソリューションです。

お客様は、現在必要とする容量から使用を開始しビジネスニーズに合わせて拡張することができます。また、リアルタイムでの容量管理や、使用量に応じた変動月額制、IT環境を簡素化するサービスが利用可能です。

クラウドのアジリティと経済性、オンプレミスのセキュリティとパフォーマンスの両方を備えたハイブリッドInfrastructure-as-a-Serviceでビジネス課題を解決します。HPE GreenLake Cloud Servicesを利用することで、お客様はデータやアプリケーションの移動の課題を克服し、エッジ、コロケーション、データセンターからセキュアにワークロードを実行することができます。

HPE GreenLake Cloud Servicesのポートフォリオ

HPE GreenLake Cloud Servicesは、18のカテゴリに分類された様々なサービスを提供し、お客様のビジネスに貢献します。

AI, ML, & Analytics

Business Applications

Compute

Containers

Database

Data Protection

Edge

High Performance Computing

Hybrid & Multicloud

Hyperconverged

Migration

Networking

Private Cloud

SAP

Storage

Security, Risk, & Compliance

Virtual Desktop

Virtualization

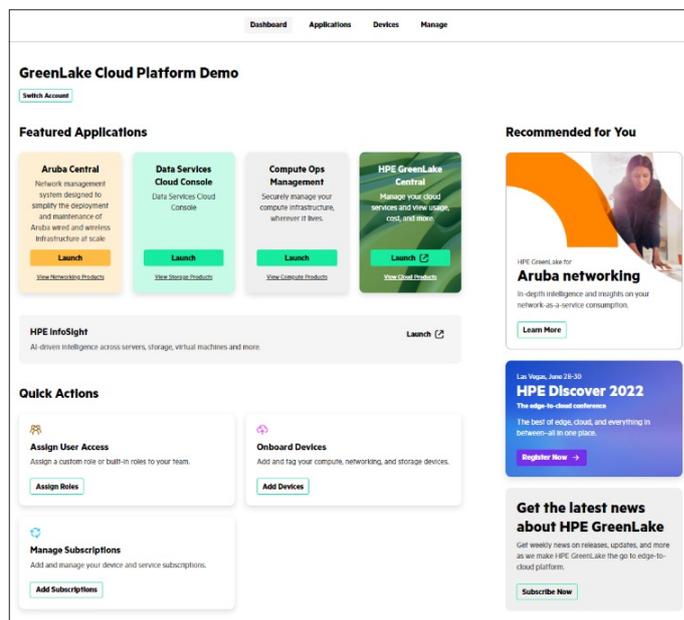


HPE GreenLake プラットフォーム

HPE GreenLakeプラットフォームは、シンプルなセルフサービスポータルで、クラウド間で統一された豊富なインサイトとコントロールを迅速かつ容易に取得し、エクスペリエンスの向上、コスト削減、リスクの軽減、コンプライアンスの確保、ビジネス運営の改善を即座に実行できるようお客様を支援します。

消費分析機能により、使用量と支出の可視化、およびアクティブなキャパシティプランニングを実現することで、サービスタイプ、場所、またはその他のパラメーターごとのコスト、およびAWSとMicrosoft Azureのオンプレミスおよびクラウド全体での使用量を透明化し、一つの管理コンソールで統合して関係者に必要な情報を迅速に提供することができます。

お客様は、ワークロードに必要な容量を常に確保することができ、予期せぬリソース需要の急増に対応するための予備容量を使用することができます。予備容量の使用状況をほぼリアルタイムで可視化できるため、HPEは顧客のニーズやビジネスの成長に合わせて容量を拡張することができます。また、開発者、データ管理者、データサイエンティストなどの各担当者は、ITチームの介入なしに、このプラットフォームから必要なリソースを迅速に入手することができます。

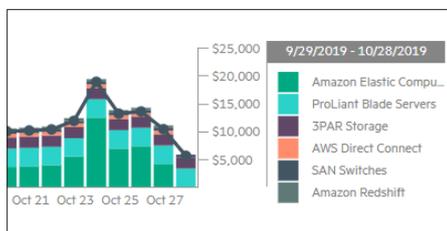


コストの現状と今後の予測は？



CFO

使用状況とコストを可視化



オンプレミスとパブリッククラウド (AWS/Azure) の使用量とコストを可視化し、使用状況を把握することで、支出の適正化を支援します。¹

追加キャパシティはいつ頃必要か？

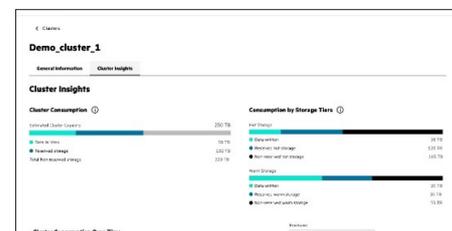


IT/Ops

将来のキャパシティ予測、プライベートクラウドのセルフプロビジョニング²



将来のリソース利用傾向を把握し、HPEとキャパシティプランを実施



リソースのスピニングは簡単かつ迅速に実施可能



1. お客様と各クラウドとの契約情報が必要です。
2. HPE GreenLake for Private Cloud Enterprise契約が別途必要です。



HPE GreenLake Cloud Servicesの メリット

メリット1

ITプロジェクト展開の市場投入期間の短縮³

HPE GreenLake Cloud Servicesを活用することで、ITプロジェクトの市場投入期間を大幅に短縮できます。現地に予備バッファを提供しており、お客様はこの予備バッファを使うことで、リソース需要の急増にも迅速に対応することができます。また、お客様はセルフサービス型のレポート機能を使用して、予算を編成したり、将来のキャパシティ予測をおこなうことができ、それによってITプロジェクトの実施効率が高まり、キャパシティを迅速にスケールアップできます。

メリット2

資本支出の削減³

ITリソースの使用率を予測することは困難です。ITリソースの需要を少なく見積もった場合、お客様のビジネスが中断するリスクが生じます。一方で余裕をもって見積もった場合には、使われずに終わってしまうITリソースが発生する可能性があり、投資が無駄になります。リソースのこのような課題も、お客様の需要に応じて即座に容量を簡単に拡張できる従量課金モデルによって解決されます。HPE GreenLake Cloud Servicesなら、お客様は必要に応じてリソースを追加し、使用した分のみ支払うことができます。また、従量課金モデルによってオーバーヘッドコストを最小化することができるため、お客様はコアとなる知的財産の強化や、さらなるイノベーションへの予算を確保することができます。

メリット3

ダウンタイムのリスク低減、IT運用・管理の効率化

IT環境の運用は、複雑でコストがかかるものです。現在、ITリソースの80%は、競争力のある差別化を実現するためのイノベーションではなく、運用に費やされています⁴。しかし、運用の手間を省くことは想像以上に困難なものです。お客様のサイトで障害が発生した場合、深刻な影響を受ける可能性があります。ハードウェアのパフォーマンス、ワークロードの配置、その他ハイブリッドITに関連する様々な変数について、明確な可視性と制御を維持することが必要不可欠です。

ITの運用と管理を安全に自動化することで、以下のことが可能になります。

- システムのダウンタイムを削減し、顧客に対して信頼性の高いサービスを提供することができます。
- ITの小さな問題が大きな問題になる前に特定し、解決することで、ITの中断を最小限に抑えることができます。ITの中断を最小限に抑え、エンドユーザー・エクスペリエンスを向上させます。
- ワークロードの配置を継続的に最適化し、コスト効率とパフォーマンスを維持することができます。
- 技術リソースを解放し、イノベーションに集中することができます。

HPE GreenLakeに基づく従量課金モデルでは、お客様のテクノロジーの運用、保守、監視をHPEに委ねることができます。お客様は必要なサポートと安心感を得ることができ、イノベーションに集中することができます。

3. The Total Economic Impact™ Of HPE GreenLake Cost Savings With HPE And Business Benefits GreenLake MAY 2022 HPE A FORRESTER TOTAL ECONOMIC IMPACT™ STUDY COMMISSIONED BY HPE

4. Rob Brothers, VP Datacenter and Support Services at IDC, [hpe.lookbookhq.com/c/idc-technology-spot?x=w081-c&xs=40596](https://www.idc.com/analysis/hpe-greenlake-cost-savings)





HPE GreenLake Cloud Servicesによる価値向上

<p>TIME 80% ITプロジェクトの 展開時間を 80%短縮⁵</p>	<p>COST 45% オーバー プロビジョニングを 避け、CAPEXを 45%節約</p>	<p>RISK 85% 予期しない ダウンタイムを 85%低減⁶</p>	<p>Simplify IT 65% 内部ITリソースを より戦略的な ビジネスイニシアチブに 振り分けることにより、 ITの運用コストを 65%削減</p>
---	--	---	---

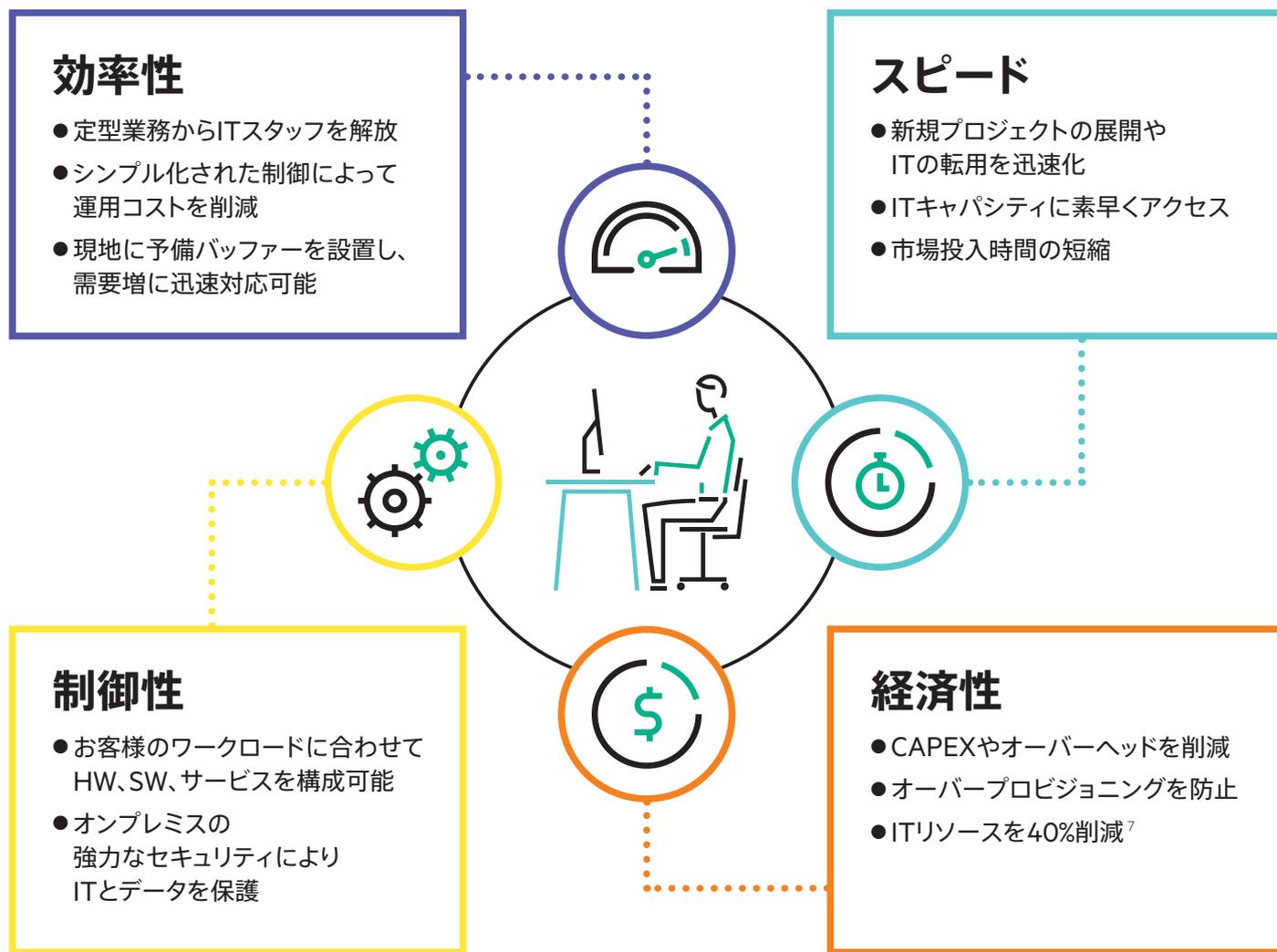
HPE GreenLake Cloud Servicesのビジネス実績

<p>\$7.1B 総契約金額</p>	<p>1600 全世界50か国以上に渡る企業顧客</p>	<p>900+ 販売可能なパートナー数</p>
<p>12年 オンプレミスでの as-a-service提供年数</p>	<p>96% 顧客維持率</p>	



5. A commissioned study conducted by Forrester Consulting, The Total Economic Impact™ of HPE GreenLake, May 2022
6. IDC White Paper, sponsored by HPE, The Business Value of HPE GreenLake Management Services, January 2022

HPE GreenLake Cloud Servicesが提供するクラウドエクスペリエンス



日本ヒューレット・パッカート合同会社
〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1

7. A commissioned study conducted by Forrester Consulting, The Total Economic Impact of HPE GreenLake, May 2020

⚠️ 安全に関するご注意

ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。
火災、故障、感電などの原因となることがあります。

HPE GreenLakeの詳細はこちら
→ hpe.com/jp/greenlake

**Hewlett Packard
Enterprise**

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。日本ヒューレット・パッカート製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。
記載事項は個別に明記された場合を除き2022年9月現在のものです。
© Copyright 2022 Hewlett Packard Enterprise Development LP.

取扱い店印